

令和6年9月
鳥栖市教育委員会
定例会議事録

鳥栖市教育委員会

鳥栖市教育委員会 議事要旨

1 会 議 名

教育委員会 9 月定例会

2 開 催 日 時

令和 6 年 9 月 1 1 日（水） 8 時 3 0 分開会 9 時 3 3 分閉会

3 開 催 場 所

鳥栖市役所 3 階第 3 委員会室

4 会 議 の 公 開

公開

5 出 席 委 員

佐々木教育長、古澤教育長職務代理者（委員）、戸田委員、森田委員、大石委員

6 出席事務局職員

姉川教育部長、牛嶋教育部次長兼生涯学習課長、佐藤教育総務課長、井手学校教育課長、立石学校給食課長兼学校給食センター所長、権藤学校教育課参事兼課長補佐兼教育指導係長兼指導主事、久家生涯学習課参事、豊増生涯学習課参事兼放課後児童クラブ支援室長、西木教育総務課長補佐兼総務係長、辻教育総務課長補佐兼教育支援係長、久山生涯学習課長補佐兼生涯学習推進係長、岡本学校給食課長補佐兼学校給食センター係長、古賀学校教育課インクルーシブ教育推進係長、島生涯学習課文化財係長、中溝生涯学習課図書係長

7 傍 聴

0 人

8 経 過 報 告

8月定例会以降の経過報告

9 議 事 録 承 認

8月定例会の議事録承認

【承認】

8月臨時会の議事録承認

【承認】

10 報告事項

- (1) 佐賀県小・中学校学習状況調査及び令和6年度全国学力・学習状況調査について
- (2) 通学路点検結果について

11 議案

議案第19号 鳥栖市教育委員会教育長事務委任規程の一部改正について

議案第20号 令和5年度鳥栖市教育委員会事務の点検評価について

議案第21号 鳥栖市いじめ問題対策委員会委員の任命について

12 今後の予定等

教育委員会関連の主な行事について報告

13 次回会議予定

教育委員会9月定例会 令和6年10月9日（水）9時00分から

○佐々木教育長

ただいまから教育委員会 9 月定例会を始めたいと思います。よろしくお願いします。
それでは経過報告をお願いします。

○佐藤教育総務課長

(資料に基づき説明)

○佐々木教育長

事務局からの説明が終わりました。何か御質問等ありますでしょうか。無いようです
ので次に進みます。議事録承認について、今回は 8 月定例会の議事録を事前にお配
りしております。なお、8 月の臨時会の議事録については非公開案件ですので配布
はいたしておりません。8 月の定例会の議事録について内容等の修正があります
でしょうか。無いようでしたら 8 月の定例会の議事録について御承認頂くというこ
とでよろしいでしょうか

○各議員

異議なし

○佐々木教育長

ありがとうございます。それでは次に報告事項に入ります。佐賀県小・中学校学習
状況調査及び令和 6 年度全国学力学習状況調査について、事務局から説明をお願い
します。

○榎藤学校教育課参事兼課長補佐兼教育指導係長兼指導主事

(資料に基づき説明)

○佐々木教育長

事務局からの説明が終わりましたが、御質問等ありますでしょうか。

○大石委員

いろいろなデータを分析、数値化をしていただいて大変見やすい資料になっている
と思いました。今回の結果から課題も見えたということで良かったと思います。2
点質問がありまして、1 点目は素朴な疑問なのですが、全国学力調査は英語科目で
は実施されていないませんが、毎回なのか今回だけなのかという疑問がありました
ことが 1 点。2 点目は授業での I C T 機器の利用が全国平均を大きく下回っている
というお話がありました。I C T 機器は積極的に使っていきましょうという流れで
あると思うのですが、そもそも I C T 機器というのは、見やすくするとか、理解し
やすくするためのものという認識をしています。I C T 機器を使ったからといって
学力が上がるかというところとまた別の問題と思っていて、方向性としては I C T 機器を
とにかく使わせたいのか。学力を上げさせたいのか。なぜ I C T 機器の使用頻度を
上げていきたいのかというところを教えていただきたいです。

○榎藤学校教育課参事兼課長補佐兼教育指導係長兼指導主事

今年度中学校の全国学力調査で英語が実施されていないことについて、毎回のこと

なのか、なぜ実施されていないのかということについては、勉強不足で申し訳ありませんがすぐにお答えすることが出来ませんので、確認をしたいと思います。ＩＣＴ機器の活用については、個別・最適な学びという面で有効であると考えております。子ども達自身で分からないこと、興味があることなどを自らで調べる、学ぶというところでＩＣＴ機器を活用することは非常に有効であると考えておりますので、活用を進めていきたいと考えているところです。

○井手学校教育課長

全国学力調査の英語科目に関しては、毎年実施ではございません。隔年か３年に１回程度の実施だったと記憶しておりますが、手持ちの資料お示しできる正確な情報がないので、後ほど御提供させていただきたいと思います。またＩＣＴ機器の活用については大石委員がおっしゃるように機器を使用したから学力が上がったのかというのは判断ができません。どのように使うのかというところを、教師が突き詰めていかなければ学力は上がらないと思ってます。しかし、タブレット端末がなかったときと比べると、個別最適な学びや、協働的な学びについては飛躍的に質が上がっていると考えております。協働的な学びという面では、例えば今までは黒板に子どもの名前の書かれたカードを張って、割合を出してたところが、今はボタン一つでグラフ化されたものが表示されます、またジャムボードなどを使うことで自分の席に居ながらにして、クラス４０人の考えが分かるようになっていきます。個別最適な学びとしては、例えば子ども達が授業で学んだことから、ある先生は授業の残り１０分間で、子ども達それぞれが興味関心を持ったことをもう少し突き詰めて考えさせるときに、やはりタブレット端末があると全然違いますし、授業そのものが変わってきています。ただ、結果としては全国、県の平均よりも使用率が下回っているということで、やはり学校がタブレット端末の良さを活用できていないところはあると思うので、それは今後の課題だと思います。グーグルのクラスルームだけではうまくタブレットを活用が難しいという先生もいて、ＡＩドリルや、後々は学習支援システムを導入していくことで、さらに活用の幅も広がって活用率も上がっていくのではないかと考えているところです

○大石委員

御説明ありがとうございます。タブレット端末などのＩＣＴ機器というのはあくまでツールであると思いますので、全国的にＩＣＴ機器をどんどん使っていこうという流れであるのですが、手段が目的になってしまっているところが多少あると思います。その辺りをもう一度、先生方で共有をしていただいて、手段と目的を履き違えないようにしていただきたいと思います。またＩＣＴ全般に関連することですけれど、先ほどから言われているように、当然見やすく、分かりやすいがために、つい分かった気になってしまうということもあります。理解が浅くなってしまう分かった気がして、蓄積されづらいということも事もあります。その辺りも理解

した上で使っていくと、より良い効果が望めるんじゃないかと思っております。。

○佐々木教育長

ありがとうございます。大石委員も言われているように、ＩＣＴ機器はツールであるということですね。ＩＣＴ機器をなぜ使うのかというと、やはり学びの質を高めるためだと思います。であればそのＩＣＴの良さをきちんと分かっているなければいけませんし、そのツールをしっかり使いこなしているからこそ分かる良さもあると思います。まだ導入してそんなに時間が経っていないものでもあるので、ツールのよさを知るために積極的に使っていこうという段階ではあると思います。そうすることで子供たちの多様な学び、協働的な学びの質を高めるということができると思っています。他に御質問等にありますでしょうか。

○戸田委員

学力調査の中学校英語の結果について御質問させてください。鳥栖市だけの課題ではなく、県平均でも全国平均と比べてかなり下回っているということで、以前から県でも英語教育については課題であると伺ったと記憶しています。どのような原因があるのか、またどのような対策を考えられているのかについて教えていただけませんか。

○榎藤学校教育課参事兼課長補佐兼教育指導係長兼指導主事

英語教育につきましては、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」すべてで全国平均、県平均を下回っているため、基礎的な学びとともに表現力を身に付けていくための、英作文、英会話などの授業も交えながら子ども達の能力を引き出していく必要があると考えています。

○戸田委員

鳥栖市だけの課題ではないのかなという部分もあるので、何か地域的な原因みたいなものがあるのか。あるいは、中学校の成績については鳥栖市の特徴として母集団が、市外へ出てしまうという話を伺ったことがあります。とはいえ他の教科に比べても英語がなかなか芳しくない数字であるので、この試験結果個別の分析も大事だと思うのですが、英語教育についてはもっと大きな観点でやるべきことが市として、県全体として、あるのかなと思いましたのでお伺いしました。

○佐々木教育長

英語教育については県の教育長会の中でも、課題として話し合いをするのですが、各市町の教育委員会でも取組はされています。最近、新聞の記事でも読んだのですが、言語活動をどれだけ授業の中に取り入れるかということに重点を置きましょうという内容でありました。子供たちがコミュニケーションツールとして、英語を使う必然性、必要性を感じながら、その良さを感じていくような場を設定していくことが必要で、授業の中で、こういうシチュエーション、ケースでどのようにしていくのかということをお子たち自身で考えて、表現していく場を授業の中で積極

的に設けて、それを自分の持つてゐる英語力で日本語は使わずに英語を使って表現していく。そこで自分に語彙が足りないなと思えば、語彙をまた増やしていくとか、自分自身の課題意識を高めていきながら、コミュニケーションの楽しさを味わわせるってというような授業を今後やっていかなければいけないと思います。先日ツアイツ市の子どもたちとの交流がありまして、様子を見ていたのですが、2週間経つてると子どもたちが積極的に会話をしようとしていました。言葉は通じない部分もあると思いますが、心理的な壁がなくなって積極的に話をしようとしていました。そこに歩み寄っていく子供たちの意識付けをしていかなければいけないと思いました。これは中学校だけの問題ではなく、小学校の中でも必要と思っていて、現在カリキュラムに則ってテキストを使って授業をしているのですが、「あなたは何かが好きですか」とか「リンゴです」とか「バナナです」というのが小学校の授業の内容になっているのですが、本当にそれを言いたいことなのかなど。言うことがうれしくなくなってしまっているのかなっていうようにも感じました。ですのでやはり言語活動の場を子供たちのために作っていかなければいけないと感じていますし、今回の調査の結果は、県平均よりも低いという状況で、英語教育については本市の課題として意識して取り組んでいかなければいけないと私自身も思っているところです。

○古澤委員

こういう学力調査の結果を見ると、佐賀県よりも全国よりも鳥栖市の方が上にいつてほしいという思いがあります。視点を変えて結果だけではなく、他の自治体を調べると、成績が上がっているところでは子供たちが基本的な生活習慣を身につけている確率が高いところでは成績が良いという結果が出ているようです。特に福井県ではそういう生活習慣を身に付けた子が多いようで、教育というと福井県という印象もありますが、共働き世帯の率は全国1位であります、3世代同居率も全国2位ということで、家庭環境的に恵まれているかということ、おじいちゃんおばあちゃんと一緒に暮らしていることはプラスの面も多々あるかと思います。その中でやはり子供たちがきちんと挨拶ができる。時間を守る。ご飯をきちんと食べられる。そして自分で計画を立ててそれを実行できる。ことの4つが大切で、それらを出来ることは基本的な生活習慣が身につくというそうなのですが、特に4つ目の自分で計画を立てて実行することを身につけることで、試験の結果についても伸びてくるんじゃないかなと思っています。視点を変えて、基本に戻ってその辺りにも力を入れてみるというのも一つのアイデアじゃないかなと思います。

○佐々木教育長

子ども達の生活習慣というところで、御意見頂きました。先日ある小中一貫校の取組で、家庭学習の1週間の一覧表を出されているところもありました。そういったものもやっぱり、生活習慣を身に付けていくための一つの取組として、小中学校ともに共通理解を図りながら家庭と協力しながらやっていくというのも、一つの手立

てかなと思います。ほかに御意見ないでしょうか。

○森田委員

I C T機器使用の調査のところ毎日使用するという子どもが少ないということだったのですが、使わなかった理由や、どういうことに使ったのかというところまで分かると、少し違う方向性も見えてくるのかなと思いましたし、その辺を分かった上で分析していくことも必要かなと感じました。また、英語の件について。机に向かっている学習もすごく大切だと思いますが、先ほどから話があっておりますように、実際に英語を使って交流することで、子どもたちの興味も強くなると思うので、苦手な子は居いるとは思いますが、英語だけを使った授業をしてみることで身に付くものもあるのかなと思います。例えば留学にいった場合には、嫌でも外国語に対応することをやりながら身に付けていくところもあるので、毎回の授業に取り入れることは難しいと思いますが、英語だけの授業での交流から興味を持っていくこともすごく大事ではないかと、自分の体験も踏まえて皆さんの話を聞きながら思いました。

○古澤委員

先ほど森田委員の御意見を聞いて思い出したのですが、以前宮崎県に視察に行ったときに、英語の授業を全部英語で行われていて、その様子を見てこれすばらしいなと感じました。分かる分からないは別として、そういう状況に慣れるための環境をつくることも大事だと思いますし、その時の子ども達はみんな上手に発言していました。取っ掛かりとして様々な方法があると思いますがいろいろな工夫をして、まずは英語を好きになる。親しみを持ってもらう。ということから始めて、最終的に学力アップすればすばらしいことだろうなというふうに思います。

○井手学校教育課長

さまざまな指摘、助言ありがとうございます。森田委員から、御意見ございました。毎日使わないのはなぜかといったところに関しては今後、我々もヒアリング等を行って把握をしていきたいと思っています。それから、今年度から新たに教育委員会事務局で勤務している檜崎指導主事は、英語が専門でして、これまで学校訪問で彼女の授業を見たときに、先ほど教育長が話をされていたような言語活動の時間を、きちんと確保して、子供たちが主体的に英語を使って話をしており、授業ではほとんど英語のみで進んでいっていました。彼女が今年度、鳥栖基山地区の、英語教育部会に講師として行って、自分が実践してきたことを発表しています。教育委員会事務局として、そういう場を提供してもらったときには、できるだけ指導主事を派遣して、全体的な底上げができればいいなと思ってます。また今後、全員参加ではありませんが希望者を募って英語だけを使って1日過ごすというイングリッシュキャンプも計画を立てているところなので、これだけ全国と比較して英語の成績が低いところをどうやったらあげられるかということについて、なかなか難しいで

すが、出来るところから手をつけていきたいと思っています。以上です。

○佐々木教育長

結果に一喜一憂するのではなく、大切なことはその結果を分析して、それを今後の施策、事業にどう生かしていくかということだろうと思います。教育委員の皆さんから今頂いた御意見等も参考にしながら、それぞれの課題について取り組んでいただければと思います。それでは佐賀県小中学校学習状況調査及び全国学力学習状況調査について、報告のとおり、御了承お願いいたします。それでは他に質問が無いようでしたら、次に進みます。通学路点検の結果について事務局の説明をお願いします。

○権藤学校教育課参事兼課長補佐兼教育指導係長兼指導主事

(資料に基づき説明)

○佐々木教育長

事務局からの説明が終わりましたが、何か御質問等ありますでしょうか。無いようでしたら次に進みます。議案第19号鳥栖市教育委員会教育長事務委任規程の一部改正について議題といたします。事務局の説明をお願いいたします。

○佐藤教育総務課長

(資料に基づき説明)

○佐々木教育長

事務局からの説明が終わりました。何か御質問ありますでしょうか。それでは議案第19号鳥栖市教育委員会教育長事務委任規程の一部改正について原案のとおり改正することを承認していただけますでしょうか。

○各委員

異議なし

○佐々木教育長

ありがとうございます。それでは次に議案第20号令和5年度鳥栖市教育委員会事務の点検評価について議題といたします。事務局の説明をお願いします。

○佐藤教育総務課長

(資料に基づき説明)

○佐々木教育長

事務局からの報告等ありますが、御質問等ありますでしょうか。

○大石委員

外部評価をいただいている中で、「家庭・地域との連携」の中で「地域主導でのコミュニティスクールの実施」という内容がありました。私の認識としては、どちらかが主導するものではなく、双方向からでないという意味がないと思っています。地域が勝手に動いてしまうと困ることもありますが、どちらかという学校主導でなければいけないと思っているところですがどのような意味合いでこの部分の評価

をされているのか解説をお願いしたいと思います。

○井手学校教育課長

ご指摘いただいたコミュニティスクールについての外部評価について、我々が報告をしたときには、直接我々に話はなかったかと記憶をしていますが、こちらの内容を精査しまして対応していきたいと思います。大石委員がおっしゃるとおり、どちらかが一方が強くなると、コミュニティスクールの異議から外れてしまうと思いますので、きちんと気をつけながら対応していきたいと思います。

○佐々木教育長

他にはないでしょうか。それでは、議案第20号令和5年度鳥栖市教育委員会事務の点検評価について原案のとおり御承認頂けますでしょうか。

○各委員

異議なし。

○佐々木教育長

ありがとうございます。事務局は今後の予定に記載してあるとおり手続きを進めてください。それでは次に議案第21号鳥栖市いじめ問題対策委員会委員の任命について議題といたします。事務局の説明をお願いします。

○井手学校教育課長

(資料に基づき説明)

○佐々木教育長

事務局からの説明が終わりましたが、御質問ありますでしょうか。では議案第21号鳥栖市いじめ問題対策委員会委員の任命について原案のとおり任命することに御承認いただけますでしょうか。

○各委員

異議なし

○佐々木教育長

ありがとうございます。それでは次に今後の予定について事務局の説明をお願いします。

○佐藤教育総務課長

(資料に基づき説明)

○佐々木教育長

事務局から説明が終わりましたが、何か御質問ありますでしょうか。それでは、本日の議題につきましては全て終了いたしました。これをもちまして鳥栖市教育委員会9月定例会を終了いたします。